



令和6年6月12日

研修だより 15号

授業研究のふりかえり

小笠原康晃

先日は校内研修への御参加ありがとうございました。

お忙しい中、5年1組担任牧野先生には授業を公開していただきました。

放課後の事後研究では、子どもの姿を通して、笠原小の現状が共有できたと思います。

成果と課題を蓄積し、私たちが目指す授業に近付いていきたいと思いません。

【成果】

1 子どもが「取り組みたい」と思わせる「しかけ」

クイズでの導入や学びのステージを使った事前学習を行い、子どもたちを一気に授業へ巻き込むことができた。自分から取り組んでみたいと思わせるような「しかけ」をすることができた。

2 ICTの効果的な活用

ロイロノートの共有機能を活用して、友達の考えをたくさん知ることができた。友達の考えを比較することで、自分の考えを見つめ直すきっかけになった。

【課題】

1 思考力の向上に繋がる対話・協働場面への「しかけ」

思考力の向上に繋がる対話・協働場面が弱かったと思われる。対話の目的が曖昧になってしまい、自分の答えを確認するための対話なのか、本時の課題を解決するための課題なのかははっきりしなかった。

次回授業者の先生は、成果と課題を踏まえた上で、授業を実施してください。

よろしく申し上げます。